

20180401 版

湯川秀樹「研究室日記 昭和廿年三月～昭和廿年九月 X」(s04-19-14)の一部

湯川秀樹「研究室日記 昭和廿年九月～昭和廿一年一月 XI」(s04-19-15)の一部

昭和廿年

9月1日(土) 雨 急に涼しくなる

登校 朝 三回生演習 小梶君

Wentzel, Vektormesentheorie 第二回

午後 本田事務局長と面会

9月2日(日)

終日家居

本日午前九時東京湾に停泊せる戦艦ミズリー

号上にてポツダム宣言に基づく降伏文書

の調印式行はれたり。

9月3日(月)

登校 午後教室相談

9月4日(火)

第八十八、終戦報告議会開院式

登校

9月5日(水)

登校 朝永君 午後 主任会議

午後より晩にかけ森速記研究所で

芭蕉会最終会

9月6日(木)

登校 素粒子学講義終了

午後 教室相談 小山同志社工専校長

来室

議会終戦報告

残存航空機 陸 約一万、海 五千八百
死傷 陸 約 492 万 (内死者 35 万)
海 15 万 (但し死者及び行方不明)

航行可能数 戦艦 0 (残存 4)
航空母艦 2 (残存 6)

首相宮施政方針

1. 言論の自由
2. 復員軍人産業要員の援護厚生
3. 国民生活の安定
4. 食糧対策
5. 住宅対策
6. 衣料対策
7. インフレ対策
8. 失業問題
9. 教育文化の建設
10. 産業の転換復旧

日銀発券高

昭和十五年末 48 億円
昭和 20 年 8 月 15 日 303 億円

国債

7 月末 千百四十億円

原子爆弾損害

	広島	長崎
死者	七万名	二万名
負傷者	十三万名	五万名
全焼全壊	六万二千戸	二万戸
半焼半壊	一万戸	二万五千戸
罹災者	十万名	十万名

9 月 7 日 (金)

登校、小谷氏来室

午後 小松氏来室

午後五時 本田事務局長宅に行く、九時
帰宅

9 月 8 日 (土)

登校 午前 三回生演習 (小椋、高木出席)

高木君、Vektormesontheorie B. $f=0$ の場合

§ 4 ~ § 5

首相宮へ尾崎行雄氏の意見書

- 1、文化と戦争は両立し得ず、戦争を根絶せしむべき
新世界の建設は、講和交渉に於て着手する必要あり
- 2、従来強弱・勝敗即ち腕力を基礎として講和した。今回は正邪曲直・即ち道義を基礎として終始すべし
- 3、戦費その他の損害は通常敗者の方が多大であるに拘はらず従来敗者をして賠償せしめるを常とした。かくの如き不合理の暴行は断然これを廃止せねばならぬ。
- 4、台湾・朝鮮・満州の如き武力を背景として得た地域は他国の控訴容喙を待たず 我より進んでこれを解放し住民の自由意志によってその帰属を決定せしむべきである。我が国が提案すれば、アメリカは比島に、イギリスは香港、ビルマに対して同様の処置を施すに至るであろう。

9月9日（日）

午後五時 木村素衛教授、本田弘人事務局長、来宅。夕食を共にす。特別科学学級のことなど話し合う。

9月10日（月）

登校 午後 教授会、荒木教授辞任を承認。散髪。朝日会館に行き 森川朝日新聞京都支局長と会談。丹羽進君来室。中重氏来室

9月11日（火）

登校 午後 上野静夫君、坂田昌一君 来室

マッカーサー元帥は日本管理方式に関し次の如く正式声明せり（桑港 9月9日発同盟）

- 1、占領軍は主としてマ元帥がその指令に対し服従を強要する

必要がある時に使用される機関として存在する。

- 2、天皇陛下及び日本政府はマ元帥の指令を強制されることなく実施するためのあらゆる機会を提供される。
- 3、日本の軍国主義及び軍国的国家主義の根絶は戦後の第一の目的であるが占領軍の一の目的は自由主義的傾向を奨励することである。言論、新聞、宗教及集会の自由は占領軍の軍事的安全を維持するための必要によってのみ制限される。
- 4、日本経済に対する支配は連合国の諸目的一主要なる目的は日本が世界平和を脅威しないことを保証しないことである一を達成するに必要な限度においてのみ行はれる。(朝日新聞原文：保障することである)
- 5、日本国民に対しては連合国に対する尊敬及信頼を増大する如く待遇する
- 6、日本国民は彼等の個人的自由及財産権に関し一切の不当な干渉を受けることがない。併しマ元帥の指令に基づき日本政府から発せられる一切の法律布告命令に従ふ必要がある。
- 7、占領軍は降伏文書の条項を実施するポツダム宣言に述べられた諸目的が達成されるまで日本に留まるであらう。

9月12日(水)

朝 6時40分二条駅より山陰線下りに乗車、澄子同行、園部下車 バスにて9時前に須知農林学校着 戸田早苗校長と面談。
午前中 科学学級の授業参観。午後一時より農林学校講堂にて農林学校全生徒に講話。再び 科学学級の蒲生寮に行く。
夕食後 児童達に講話。蒲生寮に泊る。
大変涼しい、雨が降り出す

9月13日(木)

朝のバスに乗るため高垣訓導と同道。バスが来ないので 京都までトラックに便乗
午後一時頃帰宅、澄子八時頃帰宅 京都の方が暑い。

9月14日（金）

登校、午後一中の科学教育班の会に
出席

9月15日（土）

午前十時 学士試験 その最中に米士官二
名教室へ来たので直ちに面会、一人は
Major Furman 他は Lt. Munch
後者は日本語を上手に話す。途中 荒勝教
授をも呼ぶ。一緒にミヤコ・ホテルに行く
Dr. Morrison も一緒に会談、野戦食を
御馳走になる。午後三時 三人再び教室
に來り、荒勝研究室、内田研究室を見て、吉田教
授に面会 五時前辞去。 六時過ぎ Lt. Munch
だけ又來る。扇子帯上げなどを present にする

9月17日（月）

登校
午後特別教育班 幹事会 理学部長室
晩 高秋 須知より帰宅

9月18日（火）

登校 小野満雄來室
午後三時 教室相談 助手の件など
夕方 竹上氏來診 高秋肋膜炎の由、
17日夜より台風 九州方面より日本海へ
通過に伴い風雨強し、阪神以西
被害相当ありし由

9月19日（水）

登校 午後、量子力学講義

9月20日（木）

朝家に居る、午後四時半発列車にて上京、超満
員

9月21日（金）

朝六時東京駅着、本郷兄の家に入る
朝十時大倉邸に行き、昼食を御馳走になる
午後帝大に行く、嵯峨根氏、犬井氏、□□氏等に会ふ。それより理研に行き仁科氏に面会
本郷にて夕食

9月22日（土）

朝早く駅に行き帰りの急行券を買う
朝食後理研に行き仁科氏、文理大に行き朝永氏に会う。午後三信ビルに仁科氏と打ち合せ、帝国ホテルに K. T. Compton を訪ねたが会はず。第一ホテルに Morrison を訪ねたが、これも不在。新橋に仁科存（？）氏の宿を訪ねる。漸〔暫？〕らく会談辞去。大倉邸に行く。

9月23日（日）

朝七時前 東片町を出て8時30分発急行に乗る。大変すいている。大津にて機関車故障 予定より二時間遅れ、十時前帰宅

9月24日（月）

登校、朝 荒木氏より花谷、堀両君の他 広島の台風にて遭難の報あり。
午後 教授会、途中控訴院本田判事来訪
教授会后 西谷教授来室

9月25日（火）

登校、米第六軍京阪神進駐開始に伴ひ
京都市内各所の通行禁止となる

9月26日（水）

登校、午後講義 工業化学に荒木源教授を訪問後、四条通繩手花谷暉一君の兄の家を訪問に行く。終わって魚末にて会

9月27日(木)

登校、午後教室相談

9月28日(金)

登校

9月29日(土)

登校

9月30日(日)

大学へ高山氏を訪問

10月1日(月)

登校

午後教授会

10月2日(火)

登校、午後部長室にて主任会議、散髪

高坂、西谷、高山三氏来室

10月3日(水)

Mac Arthur 司令部に提出すべき研究報告書作

製に忙がし。小島 小松両君来室 晩高垣先生来宅

10月4日(木)

朝早く登校、部長室にて米第六軍士官四名

と会見。理学部の研究につき質問を受

ける。昼前 李泰圭君、近く帰鮮の由

10月5日(金)

登校

東久邇宮内閣総辞職

10月6日(土)

大命 幣原男爵に降下

10月7日(日)

朝 鳴海さんに林さんの荷物を運んで貰ふ。

午後 長谷川寛君夫妻来室

一日中 週刊朝日の原稿を書く

10月8日(月)

登校。 終日雨

台風本州南方を通過

10月9日(火)

登校

10月10日(水)

午後臨時教授会、量子力学講義

朝 中重氏 来室

10月11日(木)

午後 広島に於ける台風禍に斃れた真下教授以下十氏の大学葬行はる。

10月12日(金) 急に涼しくなる 23度より16度まで
下がる

登校

午後 三回生演習 Slater 田中一君

坂田君 来室

憲法改正準備進む

10月13日(土) 朝14度

午前 三回生演習 Fermi, Quantum Theory of
Radiation (Rev. Mod. Phys.) 津田君

午後週刊朝日佐野氏来室、原稿を手渡す

10月15日(月)

登校、朝西谷氏宅を訪問

10月16日(火)

登校、 午後エッカート、エバースマイヤー両氏来学 新村猛氏、柴野氏を連れて来室

陸海軍人兵士 700 余万の復員概ね完了

マックアーサー元帥本国へ放送

10 月 17 日 (水)

神嘗祭 午後 2 時つるやに行き 秋田屋主催

座談会に出席。 高坂、高山、西谷三氏と一緒に

科学と思想の問題を中心として論議

10 月 18 日 (木)

午後坂田君来室

10 月 19 日 (金)

登校

午後 一中にて特別科学教育班の会

澄子、須知、檜山に行き、

10 月 20 日 (土)

登校 三回生演習 天達君 Fermi, ,

Q. T. of Radiation 第二回目

10 月 21 日 (日)

午後 鳴滝に行く 篠原市長、黒田、田岡、木村、船岡

諸教授、松永医師、エバース氏

10 月 22 日 (月)

登校 午後 教授会

10 月 23 日 (火)

登校

10 月 24 日 (水) 久しぶりで秋晴れの好天気

登校、午後講義、エカ氏 エバ氏来訪、夕食

十時帰る

10月25日(木) 登校

10月26日(金) 登校、 午後三回生演習

津田君、 Slater Chapter II

II

最近 上野公園、大阪駅付近等に飢餓による瀕死者 多数、集合 悲惨目を覆はしむるものあり
多くは戦災により家を失いしものなりと

10月27日(土) 朝 中市、矢倉氏来訪

午後 三回生演習、天達君、Fermi 続き

10月29日(月)

登校

10月30日(火)

午後 香取氏化学教室葬

10月31日(水)

登校 午後講義